

 議会だより

わくや

3月会議号
2024. 5. 1
No.217

【3月会議】

議会が注目する令和6年度の目玉事業	2
予算審査	4
補正予算	8
一般質問	9
1月第2回会議	18
議会懇談会のご案内	19
キラキラ Voice	20

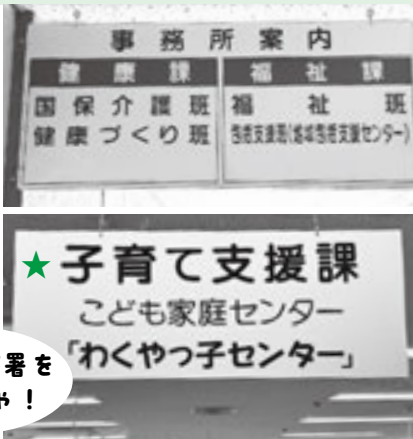
できる町へ

(前年比 +1億6714万円)

3月
会議

議会が注目する 令和6年度の👁️👁️事業

★デジタル行政推進室も設置！



第六次涌谷町行政改革大綱
に基づく行政組織改革

★子育て支援課
こども家庭センター
「わくやっ子センター」
新たな部署を
設置じゃ！

交流が豊かさ育むまちづくり



建設中のウェルファムフーズ新工場

- 特産品開発支援事業 200万円
(株)ウェルファムフーズ新工場生産品と町内農産物などによる特産品開発。
- 天平ろまん館開設 30 周年記念事業 380万円
東大寺展などを開催予定。

令和6年度の目玉事業

令和6年涌谷町議会定例会3月会議 ↓ 7日(木)から15日(金)まで開催
条例改正など議案33件 ↓ 全て原案のとおり可決
一般質問 ↓ 8人の議員が町政をただした

原案可決	条例改正など	15件
	補正予算	8件
	当初予算	9件
	議員発議	1件
一般質問		8人
(→ P9へ)		

安心して生活

一般会計当初予算 74億1729万円

令和6年度の目玉事業

子どもの成長支えるまちづくり



- ・学校給食食材費補填^{ほてん} …………… 362万円
(地産地消と食育の推進)
- ・イングリッシュ・キャンプ事業 …… 280万円
(英語力の向上やグローバルな人材を育成)

健康長寿に向けたまちづくり



- ・民間コンサルによる持続可能な施設の在り方を検討(老健) …………… 651万円
- ・地域医療対策 …………… 3309万円
- ・「大崎地域の医療提供体制の確保に係る連携協定」に基づく持続可能な医療体制を継続。

協働による自立したまちづくり



- ・地域共生社会の支援体制整備(重層的支援体制整備事業) …………… 4162万円
(介護・障害・子育て・生活困窮の属性を問わない一体的な支援を推進)
- ・国保税の減額(未就学児均等割5割軽減、18歳まで均等割全額減額、産前産後期間相当分所得割・均等割減額)

安全で快適な環境のまちづくり



- ・道路新設改良事業 …………… 1億7460万円
泥目木線道路整備、篁岳山線測量設計、馬場崎玄岡線拡幅など
(道路利用者の走行性、安全性の向上)
- ・公共下水道雨水排水施設整備事業… 3100万円
(田町裏地内県道涌谷田尻線沿排水路整備工事)

予算審査 特別委員会

令和6年度各会計の当初予算については、議員全員で構成する「予算審査特別委員会」を設置。3月12日・13日・14日の3日間審査しました。

主な質疑と答弁をお知らせします。



門田善則委員長

予算審査

一般会計質疑

歳入

町民税

問 定額減税はどのような？

佐々木敏雄委員

答 定額減税の説明が無かったが、予算措置してあるのか。

答 当初予算には反映しておらず、他の制度との関連もあり、賦課決定後になる。

歳出

総務管理費

問 デジタル行政推進室は何をする？

黒澤 朗委員

答 デジタル行政推進室を設置するが、何名配置するのか。また、令和6年度は何を推進するのか。

答 4、5名程度である。また、マイナンバーカードを活用した各種行政手続きのオンラ

予算審査

一般会計質疑

歳入

職場環境の改善を

問 メンタル不調職員が出ないよう配慮しているのか。

杉浦謙一委員

答 地方公務員共済組合や県などで行われているメンタルヘルス研修へ積極的に参加できる体制を取っており、メンタル不調を防止する職場づくりに配慮している。

職場環境の改善を(2)

問 数名の休職者がいるが、他の職員の負担になり、悪循環となるため、専門職による健康管理やストレスチェックを行い、対策を講じるべきではないか。

只野 順委員

答 保健師などの専門職を交え、メンタル不調とならないよう、また、職場復帰に向けて、相談しながら対応している。

貸付金はどうする？

問

指定管理者の地域振興公社に補助金を出して、それを貸付金の返済に充てるという苦肉の策を提案しているが、計画期間5年の間に指定管理の契約が終了するため、無理があるのではないか。

答

契約終了となった場合は、協議の上、最善の方法を取る。

わくや万葉の里の事業予定は

問

「わくや万葉の里」開設30周年記念事業の詳細はどうか。また、ことし6月に開催される「多賀城創建1300年記念事業」との内容の重複による懸念はないか。

答

10月に東大寺展を開催予定であり、内容などは協議中である。また、派生するイベントも出てくると考えられ、他団体の協力も相談しながら、事業が盛況となる

ようである範囲で実施する。



開設30周年の「わくや万葉の里」

天平の湯の経営は良 好か

問

温泉の指定管理料の減額はなぜか。無理な経営となっていないか。

答

入札時に年々減額することを約束しているため、減額した。経営は経費の見直しを行い、改善していると聞いている。

問

町民へのサービス

天平の湯の入浴料を町民に対して割

引できないのか。

答 天平の湯の自助努力により、イベントで割引券の配布などしている。改めて町民に対する割引を行うには指定管理料の増額も考える必要があるため、相談する。

天平の湯の経費はどうする？

問 佐々木敏雄委員
天平の湯におけるサウナの修繕や休業による減収分の費用負担はどうなるのか。

答 指定管理者が負担する。撤退時、町に寄付する約束となっている。



経営改善が期待される天平の湯

町民バスの見直しを

問 利用者が少ない町民バスをデマンドタクシーに移行するなど、地域公共交通について根本から考え直す必要があるのではないか。

答 町にとって最適な地域公共交通について協議していく。

老朽化している庁舎の今後は

問 稲葉 定委員
庁舎の建て替えは、いずれ必要になるため、庁舎建設基金を積み立てるべきではないか。

答 町民や議会の皆さんの理解の下、必要と考えており、構想を検討しているところである。

地域公共交通計画はどうなる？

問 佐々木みさ子委員
地域公共交通計画策定業務について、委託先はどこか。また、実施時期はいつか。

答 令和6年4月1日から法定協議会として設置する地域公共交通会議に委託する。また、令和7年3月までに策定する。

防犯灯LED化の計画は

問 竹中弘光委員
各地区から防犯灯LED化の要望がかなりあるが、今後の計画を示してほしい。

答 年間で10カ所のLED化を予定しており、優先順位を決めて示していく。

非正規雇用は適切か

問 会計年度任用職員について、比率が全体の42%を占めているが、バランスが悪いのではないか。また、新聞で雇止めの問題が報道されているが、大丈夫か。

答 パートや短期間勤務の職員も含まれる。また、通年勤務の職員は、毎年度、面接、人事評価により後年度の採用を決定しており、採用

時には、年間の雇用について十分説明している。

児童福祉費

児童クラブの運営は

問 放課後児童クラブ運営業務委託の契約期間は何年か。また、人材不足の心配はないか。

答 3年契約である。また、委託事業者により、人材は確保できている。

保健衛生費

焼却は秘密裏か

問 汚染稲わらの処理について、公表してほしい。他町の1日当たりの処理量を見るとかなりの量であり、安全が担保されているのか心配がある中で、検証できないことは理解できないが、どう考えるか。

答 国の基準に基づき測定を行い、安全を確認した上で、風評被害が起きないように実施する。

処理できない汚染稲わらの処置は

問 集約テナント建設工事
事に1100万円であるが、1キログラム当たり8千ベクレルを超えた汚染稲わらを全て集約できるのか。

答 現在は3カ所で保管しているが、1カ所に集約する。県外搬出を見込んでいる73トのうち測定結果により搬出できない部分を保管する。

農業費

「金のいびき」がピンチ

問 昨年の猛暑で、こしの「金のいびき」の作付けが減少した。涌谷町のブランド米を絶やさないうよう、栽培管理の工夫や収入保険加入によるリスク軽減など、あらゆる対策を講じるべきではないか。

答 今が正念場と考え、収入保険の加入を推進しながら、方法を検討の上、さらなる

予算審査

予算審査

る支援をしていく。

担い手確保のための支援は

稲葉 定委員

問 農水省の政策である水田転作の補助金減額が非常に痛い。作目転換など努力は惜しまないが、担い手減少の対策はあるか。

答 国に対して窮状を伝え、よりよい制度になるよう要望しており、畑地化事業などの代替案も指導していく。十分に利益が出て、就農者が増えるような事業展開を検討する。

園芸農家を支援

佐々木みさ子委員

問 園芸施設ストックマネジメント事業補助金はどのような事業の経費か。

答 園芸をされている部分で出荷をしている方を対象にパイプハウスなどの補修助成を行うもので、実施期間を3年間として事業を展開していく。



園芸施設の長寿命化と機能保全を

商工費

遠田商工会補助金積算の考えは

一條裕太郎委員

問 遠田商工会補助金について、積算根拠はどうなっているのか。また、人口比率や商工会加盟事業者の税率などをを用いる積算方法を今後考えてはどうか。

答 ルールは決まっておらず、監査委員の指摘もあり、話し合いをした上で、事業に見

合った金額としている。また、今後のことについても話し合いをしていく。

高齢者の活動の場を

シルバー人材センター運営費補助金

問 ターが昨年度比で増額したのにはなぜか。また、人手不足と聞いたが、どう考えているのか。

答 人件費高騰による増額である。また、高齢者が元気に働けるよう支援する。

新たな企業の操業による交通対策は

後藤洋一委員

問 ウェルファムフーズ新工場が尾切地内に完成し、令和6年5月31日から操業開始予定である。通勤などによる国道108号線の渋滞などの懸念事項への対策は考えているのか。

答 通勤時間をずらすことは可能であると聞いている。操業開始により渋滞が起きることがないよう会社と相談していく。

消防費

防災無線が聞こえない

問 室内では防災無線が聞こえないため、個別受信機の設置など考えてはどうか。

答 他の自治体を参考に、室内でも情報を得られる方策を検討する。

災害時の円滑な避難のために

問 女川原発の災害時に1万人を超える避難者の受け入れを想定しているようだが、石巻方面から国道108号線バイパスに侵入する道路の拡幅が必要ではないか。

答 検査場所となる涌谷スタジアム周辺の整備として予算が決まっており、県などとの打ち合わせにより、現況のまま問題ないと判断された。

消防団への支援は

只野 順委員

問 ことし、宮城県消防操法大会に参加するために団員は練習に取り組んでいる。町もサポートするべきではないか。また、大型ポンプ自動車の今後の運用はどうなるのか。

答 サポートするためには予算を増額して対応している。また、大型ポンプ自動車は本部分団で管理していく。

保健体育費

スポ少の活性化を

竹中 弘光委員

問 スポ少の活動状況は盛況か。今後、中学校における部活の地域移行も予定されており、活性化を図るべきではないか。

答 スポーツ少年団連絡協議会本部長と共に声掛けをしており、今後も活動が盛り上がるよう継続する。

国保会計質疑

税率などの改正の考えは

杉浦謙一委員

問 県から標準保険料率が示されたが、税率などの改正は考えているのか。

答 今のところ、考えていない。

水道事業会計質疑

水道管の危険箇所は

黒澤 朗委員

問 国内では年始から災害が発生している。町内の危険箇所は把握しているのか。

答 老朽管はリスクがあるため、限られた財源の中で更新などに努めて、不測の事態に備える。

老健施設事業会計質疑

事業予定の数値は適切か

黒澤 朗委員

問 コロナのリスクも軽減している中で、事業予定を過少に設定しているのではないか。また、事業量の減少は人員配置にも影響するのではないか。

答 予算は実績に合わせて計上しており、人員配置はニーズなど状況を把握した上で考えていく。

今後の事業運営の考えは

後藤洋一委員

問 介護保険施設が競合していることも利用者の減につながり、赤字予算になっていると考えるが、事業の在り方や経営改善について、どのように考えているか。

答 民間コンサルを活用して、介護老人保健施設の必要性を総合的に検討し対応していく。

予算審査

稲葉 定議員

貸付金や放射性廃棄物の処理方法は承認できない

浦谷町地域振興公社へ

の貸付金の処理は納得できない。事故の損害賠償金を町が肩代わりし、無制限に赤字補填を繰り返した。経営責任者だった過去の理事長や町の執行者はその責任を取るべきだ。現執行者はそれを踏まえて厳格な処理をする必要がある。

討論

賛成
後藤洋一議員

財政再建が進められており、大変評価に値する

これまで約5年間にわたる厳しい環境で行政運営に当たって、昨年11月に財政非常事態宣言を解除し、財政再建を進めてきたことが令和6年度予算に表れており、大変評価に値する。

歳入では、物価高騰に

要がある。

また、放射性廃棄物の焼却について、公表の要求はねつけて、秘密裏に汚染稲わらをよそに運び処理する身勝手な計画には賛成できない。早く処理したいとは思いますが、県外焼却、焼却灰の確実で安全な処理方法、また、信頼できる放射能測定など非公表では何も検証できない。政府の都合で住民の不安を踏みにじる強硬策は容認できない。よって反対する。

よる景気の低迷など厳しい経済環境の中で一定の税収を見込み、また、「第六次浦谷町行政改革大綱」に基づき産業振興課を設置し、農・商・工の連携により一体的な振興を図るなど地域産業振興に大きな効果が期待される。

加えて、議員から提案された役場新庁舎建設基金は、大変意義深く、職場環境改善も前進することが肝要と考えている。以上、賛成討論とする。

3月会議採決状況

○…賛成 ×…反対 議長(大泉治)は可否同数にならない限り採決に加わりません。

件名	一條 裕太郎	二上 光子	黒澤 朗	佐々木 敏雄	佐々木 みさ子	稲葉 定	只野 順	後藤 洋一	伊藤 雅一	杉浦 謙一	門田 善則	竹中 弘光	大泉 治	議決結果 (可決) 賛成：反対 (10：2)
令和6年度 浦谷町一般会計予算	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	—	

令和5年度 一般会計 補正予算

〈一般会計補正予算の主な内容〉

- ・物価高騰対策給付金給付事業 - 1724 万円
 - ・(一小) 障害児対応トイレ・トイレ洋式化改修事業 5617 万円
 - ・涌中プール改修事業 1011 万円
 - *いずれも令和6年度に繰り越し
 - ・障害者相談支援事業および基幹相談支援事業の消費税分(平成30年度から令和5年度まで) * 679 万円
- *万円未満切り捨て

補正予算

答 研修館や夢sho p、その他事業の収支も含めると相殺され補正額は資金ショートが見込まれる金額である。

誰が責任を取るの？

問 公社の運営経費が窮迫するたび町から補助金を出すという体質は今始まったことではない。これまで誰も責任を取ったことはないが、今後支援するのか。

答 確かになれ合いだった部分もあった。今後は安定かつ自立した経営を求めていく。

民生費

※障害者相談支援事業および基幹相談支援事業を社会福祉法人に委託し実施してきたが、国からの通知により課税対象事業であることが判明した。よって、委託事業者である社会福祉法人共生の森に、平成30年度から令和5年度分までの委託事業の消費税分を支払うもの。

予算の区分は適切か

問 平成30年度から令和4年度分について、「補償補てん及び賠償金」として計上しているが、「委託料」とすべきではないか。

答 過年度分の委託業務は既に完結しており、これから委託契約を変更して増額することはできないため、「補償補てん及び賠償金」として計上している。

討論

今後の施設運営に期待する

懸案であった指定管理による施設運営について、これまでの経緯など、町も一定の責任を認めて謝罪したことは評価し、現時点ではとがめることはないため、賛成する。

令和6年度 一般会計補正予算

〈一般会計補正予算の主な内容〉

- ・閉庁時の日直業務委託費 315 万円
 - ・障害者相談支援事業および基幹相談支援事業の消費税分 141 万円
- *万円未満切り捨て

質疑

新聞報道に対する対応は

問 新聞報道に町内の社会福祉法人が支払うべき計約820万円が未納である旨掲載されたが、町が法人に支払う消費税相当額である。法人は未申告であり、消費税額は確定していない。掲載内容の訂正をさせないと法人の評判への影響が懸念されるため、抗議すべきではないか。

答 記事を作成した報道機関に伝える。

サービス低下にならないか

問 令和7年度からは障害者相談支援センターと基幹相談支援セン

ター事業に係る委託料は内税で支払うことになるが、実質的に使える金額が減ることにより、サービス低下などの支障は生じないのか。

答 受託法人と事業内容を相談しながら、事業実施に支障が出ないように進める。

議案審議

○涌谷町会計年度任用職員給与及び費用弁償に関する条例等の一部を改正する条例(令和6年度から会計年度任用職員も勤勉手当を支給することになったことから、所要の改正をするもの。)

質疑

会計年度任用職員の雇用規定は

問 会計年度任用職員は昇給があると認識しているが、次年度も継続して雇用する際の規定はあるのか。

答 雇用の基準は内規で定めており、昇給に伴い、勤勉手当も上がる。

総務管理費

地域振興公社の未払い金の処理は

問 令和4年度末時点で地域振興公社の収支総額が6264万円の赤字だが、今回の運営費の補正額は372万円である。残りの5892万円はどのようにするのか。

ズバリ

3月会議では、3月7日、8日に一般質問が行われ、8人の議員が町政について質問をしました。

掲載されている質問と答弁は、質問した議員が600字以内で要約し、広報分科会委員が調製したものです。

町のホームページでは、動画の録画配信を行っていますので、そちらもぜひご覧ください。

涌谷町ホームページ URL

(<http://www.town.wakuya.miyagi.jp>)



一般質問

町政をただす

一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針などについての考えを問い、報告や説明を求め、よりよい方向へ導くものです。

ただの じゅん 只野 順 議員 (10 ページ)

- ① 道路の整備事業について

いちじょうゆう たろう 一條 裕太郎 議員 (11 ページ)

- ① 新規立地企業に関連する事案について
- ② 災害等に対する備えについて

いなば さだむ 稲葉 定 議員 (12 ページ)

- ① 新規イベントの開発又は誘致の考えは
- ② 庁舎の改修を提言しているが現在の進捗度合いは

にかみ みつこ 二上 光子 議員 (13 ページ)

- ① 暮らしやすい町民サービスの向上について
- ② 令和6年度予防接種の助成制度について

ささきとしお 佐々木敏雄 議員 (14 ページ)

- ① 町内に漂う閉塞感に対する多方面にわたる行政サービスをどう行おうと考えているか

すぎうら けんいち 杉浦 謙一 議員 (15 ページ)

- ① パートナーシップ制度について町の考えは
- ② 子どもの予防接種助成に拡充を

もんでん よしのり 門田 善則 議員 (16 ページ)

- ① 麓岳山を中心にした観光戦略について

くろさわ あきら 黒澤 朗 議員 (17 ページ)

- ① 今後の町の魅力づくりについて問う



問 生活道路の整備を積極的に進めよ

答 予算内で順次整備していく

一般質問

問 道路台帳は整備しているのか。

町長 既に整備済みで、毎年更新している。

問 道路の維持・補修について、予算は十分か。また、集合住宅地（桜町裏地区、北田地区）の進捗はどうか。

町長 限られた予算の中で対応している。また、舗装補修（パツ

チングや穴埋め）を実施しているところだが、現在は幹線道路の打ち換え工事を優先しており、追いついていない状況である。

問 中道1号線に接続する枝線の補修は考えているのか。

建設課長 幹線道路の舗装補修を優先しており、計画はない。



歩道整備を行う中道1号線

問 9の2区、9の3区における移住・定住に合わせた道路や水路の整備は考えているか。

町長 具体的には検討していないが、一部を除いて行っており、今後も他地区の整備状況と調整を図りながら、進めていく。また、下水道の雨水排水路整備事業として涌谷公民館前の水路整備に着手しており、地区内の排水不良箇所の整備を行っていく予定である。



高規格道路の整備促進に向けて

問 過疎債を利用して予算化すべきではないか。また、高規格道路の整備促進のために、積極的な取り組みを行うべきではないか。

町長 昨年度より過疎債を活用し、道路や水路の整備を行っており、今後も限られた財源の中で過疎債などを活用しながら環境整備に努めていく。また、高規格道路の整備促進に向けて、各関係団体と共に活動してきたが、国に対して、さらに強く要望していく。



問 官民連携によるまちづくりを

答 特産品開発を計画している

問 間もなく操業するウエルファームフーズの「森林どり」を使用した商品開発の進捗状況はどの程度か。また、商品開発事業者の数はどのくらいか。

町長

涌谷町特産品開発支援事業委員会を設置しており、本年度中にウエルファームフーズの現工場と鶏肉を活用した町おこしや商品開発を実践している先進地への視察を計画している。

また、事業者は、製造業5社、製造業以外（飲食業など）10社を見込んでいる。

問

飲食店などに対する開業支援施策はあるのか。

町長

地域の事業者の相談窓口である遠田商工会が起業セミナーの開催や起業に向けた諸課題の解決を支援しており、今後も関係機関と連携して継続する。



起業や特産品開発の支援も行う

問 災害に備えた環境整備を

答 必要に応じて可能な限り対応する

問 災害への備えとして、携帯電話の安定した電波状況を確認すべきではないか。

町長

現在、町が大手携帯電話会社と直接取り交わしているのは緊急速報メールの配信サービス利用のみであるが、宮城県では、大手4社と「災害時における通信設備復旧等の協力に関する協定」を締結している。通信会社は県から提供される市町村の災害情報からエリア内の被害状況を総合的に判断した上で、通信設備の復旧に努めることとしている。今後も可能な限り連携を図り、災害時の安定した通信状況の確保について要望していきたい。

問

交通指導隊や消防団における備品の整備や拡充が必要ではないか。

町長

今後も必要に応じて更新、拡充を図っていく。



訓練に励む消防団



問 イベントで町の活性化を

答 有志の活動に必要な支援をする

一般質問

問

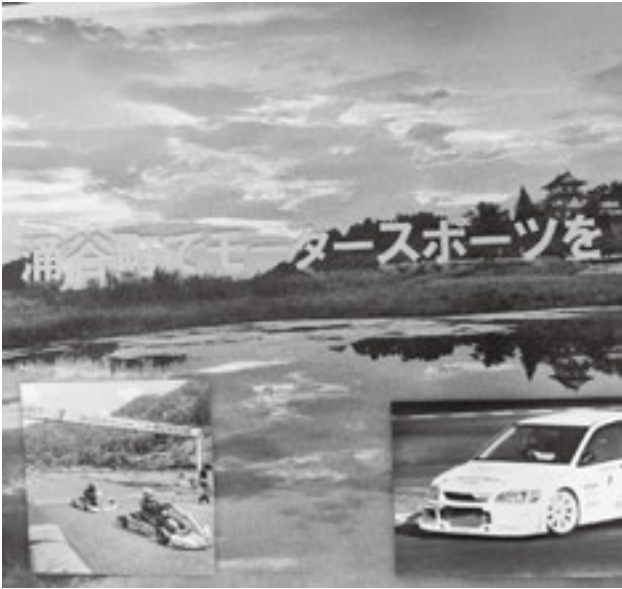
交流人口の拡大が課題であるが、昨年、利府町で開催されたスポーツ流鏑馬（やぶさめ）のような新規のイベントはできないか。

また、見直しが必要な既存のイベントもあるのではないか。

そして、モータースポーツのイベントを開催したいという機運もあるが、内容によっては町の後援をもらえるのか。

町長

イベントの誘致は継続して行っ



イベントで交流人口拡大へ

ており、デントコーン迷路のように有志で進めて成功している事例もある。

また、既存イベントの見直しは涌谷町観光物産協会と相談しながら対応していく。

そして、モータースポーツに関しては、オフロードバイクの活動が民間により既に実施されている。

有志による活動に対して、必要なサポートをしていくことが望ましい形と考えている。

問 庁舎の機能強化はどうなった

答 改修はせず、運用面に対応

問

令和5年6月会議において、庁舎2階に女性用トイレの設置を提言したが、その後、検討は進められているか。

町長

主に西庁舎のトイレについて検討したところ、数百万円の費用を要することが分かり、議員や職員に聴き取りを行ったところ、強い要望は出されなかった。今後、財政や利用状況を勘案して対応する。

また、傍聴者に対しては案内を強化するとともに、インターネットを利用して議会を傍聴できることを周知していく。

問

庁舎のバリアフリーは解決できるのか。

町長

本庁舎は築60年を過ぎ、エレベーターなどの多額の費用がかかる改修は難しいため、1階で打ち合わせや申請などができるようにするなど運用面に対応していく。



築60年を過ぎた庁舎



問 ワンストップサービスの提供を

答 現況は困難だが、対応を検討する

問 死亡届に際して、多岐にわたる手続きの一括案内コーナーを設置し、事前予約ができる体制を取ることで、当日の手続きを円滑に進め、遺族の負担軽減を図れないか。

町民生活課長

届出人には必要な手続きを一覧にした「お知らせ」を配布している。1カ所で手続きを完結させるには、さらなる人員や場所の確保が必要となり、現況では困難であるため、チェックリストなどの活用を各関係部署間で検討し、対応する。

問

「介護ワンストップサービス」により、24時間体制で要介護認定のオンライン申請を可能として、介護サービスの早期利用につなげられないか。

町長

マイナンバーカードの普及など課題もあるが、デジタル担当と連携し、進めている。

一般質問



住民票の異動手続きなどを行う
←町民生活課窓口

問 各種予防接種助成に対する考えは

答 国の方針に基づき対応する

問

带状疱疹は50歳以上で発症しやすく、ワクチン接種によって予防できるが、生ワクチンは8千円ほど、不活化ワクチンは2回接種で4万円ほどと高額なため、諦めて重症化する事例が多く報告されている。公費助成の予定はあるか。

町長

現在は、希望者が各自で受ける「任意接種」として、接種費用は全額自己負担となっている。今後も国の動向を注視し、県内の状況を見ながら検討していく。

問

肺炎球菌予防接種について、令和6年度からはどのように実施されるのか。

町長

これまでは65歳から5歳刻みで100歳までの方を対象に、接種費用8千円程度のうち3千円を上限に助成しているが、国の方針により、令和6年度からは65歳の方のみを対象者として引き続き助成を実施していく。





問 町内に漂う閉塞感から脱却を

答 問題を一点突破で解決していく

一般質問

問 町民と接する中で感じる町内における閉塞感をどう捉えているか。

町長 問題に対して、できるもの、しなければならぬものから一点突破で解決していく。

問 閉塞感の解消には町民との情報交換が大切であるが、最も身近な機会である行政区長会議で意見の制限があったと聞いた。なぜか。

町長 司会者からそのような発言はあったが、直ちに否定し、これまで同様、町政に協力をお願いした。

問 「涌谷伊達家」の際、葬儀、告別式に町の代表者の参列はなかった。涌谷に深く関わるセレモニーなどには積極的に参加すべきではないか。

町長 外せない公務と重なったため、遺族に理解をいただき、前夜弔問をした。



郷土を見守る伊達安芸宗重公



最適な運行を望むスクールバス

問 人気事業であった「わくや元氣アツプ教室」を中止するようだが、町民から強い希望もあるため、継続は考えられないか。

健康課長 これまで受けていた補助金の対象外とされ、事業内容の拡充、変更が必要となり、中止と決定した。社会福祉協議会や公民館で行われる同様の事業にシフトしていく。

問 遠距離通学者ではない児童・生徒の保護者からスクールバス利用の要望があり、以前も質問したが、実現されていない。どう考えているのか。

教育総務課長 令和6年度中に、今後の児童・生徒数や効率的な運行経路の見直しなども含めて検討する。

問 涌谷高校の出願倍率が0.28倍となり、存続の危機と思うが、どう考えているか。

町長 高校が無くなることは町の衰退につながるため、私も涌谷高校のよさをアピールしていく。

杉浦

すぎうら

謙

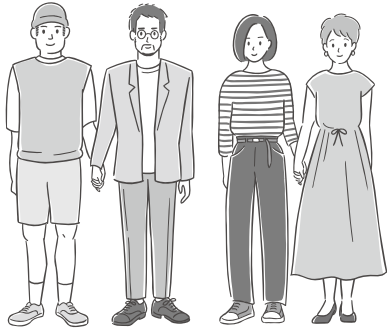
けんいち

議員



問 パートナーシップ制度への考えは

答 今後の課題として慎重に検討する



問 宮城県では、仙台市や栗原市が令和6年度から導入するパートナーシップ制度について、どのように考えているのか。

町長 現在のところ、問い合わせはないが、今後の検討課題の一つであると認識しており、国、県、県内市町村の動向を注視しながら、調査研究して慎重に検討する。

一般質問

問 インフルエンザにかかると中耳炎、気管支炎、肺炎、脳症などの合併症を引き起こすこともあるが、ワクチン接種により発病を抑え、重症化を防ぐことができる。当町では1歳から13歳未満を対象として2回接種のうち1回限り1500円の助成をしているが、全額助成すべきではないか。

町長 65歳以上を対象に1回2千円を上限として助成している定期接種の費用負担とのバランスを考慮する必要がある、県内の状況を把握し、検討していく。

問 なぜ1回限りの助成としているのか。

健康課長 財政非常事態宣言前は2回助成しており、今はその宣言が解除されているため、助成内容をあらためて検討する。

問 子どもの予防接種助成の拡充を

答 県内自治体の動向を鑑みて考える

問 おたふくかぜ予防接種は、1歳から5歳未満を対象に6千円を限度額として助成しているようだが、栗原市のように全額助成すべきではないか。

町長 令和4年度の接種率は約7割で、およそ必要な子どもには接種できているため、助成金額の拡充は考えていない。引き続き、子育て世帯の経済的負担の軽減を念頭に置き、近隣市町の動向を注視しながら、事業に取り組んでいく。





問 観光資源を生かした町の活性化を

答 さらなるPRで交流人口を増やす

一般質問

問

現在、涌谷町は少子高齢化、人口減少の進行が著しい。すぐに改善することは難しいが、籠岳山を中心とした観光戦略により交流人口を増やす工夫をすべきではないか。

町長

交流人口を増やすことは、移住や定住を推進することと同じくらい重要と考えている。まずは、既存のイベントを中心にPRなど行いながら、日本遺産に認定されている「みちのくGOLD浪漫」を、これまで以上に発信し、関係市町を周遊することで交流人口を増やす努力をしていく考えである。

問

雲海の見える山と籠峯寺、また、ゴルフ場などを活用した観光開発をすべきと思うが、どのように考えるか。

町長

雲海については、さまざまなかろで発信し、既に知られるようになってきており、籠峯寺は県の有形文化財に指定されている観音堂、天台密教の秘法である採燈大護摩供など地域の文化を伝える涌谷町にとって重要な寺院と認識している。また、ゴルフ場では感染症が流行する中でも、屋外でできるスポーツとして、にぎわいがあった。これらの来訪者の方々を増やすことができるよう、令和6年度予算には町道籠岳山線の事業費を計上しており、町内外の方々の憩いの場となることを期待している。



籠岳山から望む雲海



県指定文化財「籠峯寺観音堂」

黒澤 くるさわ

朗 あきら
議員



問 施設を統合し、新設すべきだ

答

子どもたちにとって、より良い方針を決定する

問 子どもたちのために、幼稚園、小学校を統合し、新設すべきではないか。

教育長

近年、年間出生者数が40人台前半と減少していることに伴い、ことし2月に開催された「令和5年度第2回総合教育会議」において、近い将来、町立幼稚園とさくらんぼこども園を集約した方が保育ニーズに応えられ、効率的な運営ができるのではないかとの方角性で合意した。小学校の再編も並行して検討するが、まずは幼稚園再編の具体的な時期や形態を検討し、改めて報告する予定である。

町長

幼稚園は、現時点では集約することが最善の方策と考えており、今後、再編検討委員会の答申などを基に方針を決定していく。小学校も、今後の児童数の推移や学校施設の状況などを考慮し、子どもたち



にとって、より良い方針を決定していく。

問 町内に公園が少ない

答

既存施設を適正に運営していく

問

当町は他町村と比べ、町民1人当たりの公園面積が少なく、近年では、児童遊園や八雲児童館の遊具が撤去されたが、各世代が集える都市公園を整備すべきではないか。

町長

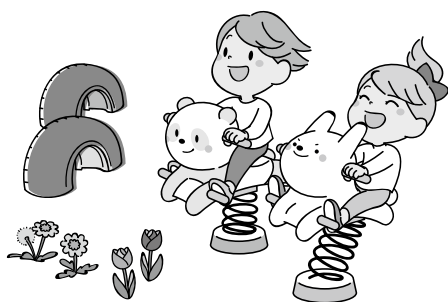
公園の除草などを職員の直営作業でも対応しており、維持管理費用の抑制が必要な厳しい財政状況では、新たに整備することは難しい。既存施設を適正に維持・活用し、皆さまのニーズに可能な限り応え、柔軟に運営すべきと考えている。

問

公園に防災施設を併設すれば、人口密集地の町民の生命を守ることもできるのではないか。

町長

地震の際など、一時避難場所として安全確保につながると思うが、ソーラー街灯なども含めて考えていきたい。



一般質問

1月25日開催
1月
第2回会議

条例改正

○涌谷町課設置条例の一部を改正する条例

第六次涌谷町行政改革大綱の策定に伴い、現行の組織体制を改編するもの。

質疑

まちづくり推進課をなくす!!

問 「広範にわたる事業のため、移住定住や企業誘致などが進まなかった。」との説明だが、まちづくりの推進を統括、また、補完し、注力しているイメージは保つべきではないか。

答 課がなくなっても、まちづくりの推進は部署横断で進めていく。

一般会計 補正予算

質疑

総務管理費

何年もたつて今?

問 指定管理施設で過年度に更新した空調設備を町が買い取る補正は明らかにずさんな事務である。相手方の決算書の修正が必要になる可能性があるほか、残存価格での買い取りとするなど褒められる手法ではないがなぜか。

答 令和2年度に整備把握できなかった。本来は町で行うべきであったが、打ち合わせが足りなかった。今後は十分注意する。

休館した天平の湯への対応は

問 天平の湯が給水管破断のため、昨年11月23日～12月1日まで休館になったことによる休業補償負担金の算定方法は。

答 基本協定に基づいて、曜日ごとの平均入浴者数から想定される電力と重油の使用量を差し引いた額で算定する。

道路橋りょう費

中道1号線はどう改修する?

問 中道1号線測量設計業務委託料に関して、どのような改修工事になるのか。

答 全体計画は約2・3キロメートルで、そのうち、涌谷幼稚園前の水路を挟んだ道路について、現況の水路を活用して歩道整備を行い、併せて、水路を側溝にする。

小学校費

全て洋式トイレへ

問 涌谷第一小学校におけるトイレ洋式化改修工事は新年度に間に合うのか。また、洋式化率はどの程度になるのか。

答 新年度には間に合わない。本校舎分の児童が使用するトイレは全て洋式になる予定である。

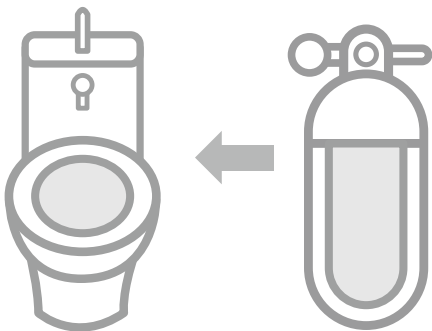
討論



稲葉定議員

適切な事務執行を

指定管理施設における過年度の設備購入費を今ごろ負担する補正は、後年度であっても修正が必要なのは分かるが、事務の不適切を説明することもなく予算に計上している。今後、同様の事が起きないよう十分に緊張感を持って事務執行をしていただきたい。よって、討論に付して反対する。



議会のこと
知ってください！

議会懇談会

皆さんの意見
聴かせてください！

目的

議会は町民の皆さんに説明責任を果たし、町政のさまざまな課題に柔軟に対応するため、皆さんの地域で、議会で議論された内容を説明いたします。

町民の皆さんと自由に情報交換や意見交換ができる場として、議会懇談会を下記のとおり開催いたします。

懇談会テーマ

人口減少に歯止めをかけるために

説明事項

定例会 3月会議審議内容等

ぜひ、皆さんの想いを教えてください。

開催日時と場所

6月9日(日)

西地区

1班

一條裕太郎 議員
佐々木敏雄 議員
只野 順 議員
杉浦謙一 議員
大泉治 議長(巡回)

午前10時から

● 5の2区自治会館
(字六軒町裏 84-4)

午後1時30分から

● 9の2区集会場
(字田町裏 141-1)

東地区

2班

二上光子 議員
佐々木みさ子 議員
後藤洋一 議員
門田善則 議員
大泉治 議長(巡回)

午前10時から

● 中地区コミュニティ
センター
(涌谷字新下町浦 185)

午後1時30分から

● 上地区コミュニティ
センター
(上郡字玉崎山 53-1)

箕岳地区

3班

黒澤 朗 議員
稲葉 定 議員
伊藤雅一 議員
竹中弘光 議員
大泉治 議長(巡回)

午前10時から

● 小里集落センター
(小里字新一の坪 44)

午後1時30分から

● 吉住会館
(吉住字前畑 10-1)

お近くの会場にお越しください。お越しの際には、

5月1日(水)発行の『議会だより』をお持ちください。

主催：涌谷町議会

【問い合わせ先】 涌谷町議会事務局 電話：0229-43-2127

議会に皆様のご意見をお寄せください。

キラキラ Voice vol.28



甲田弘さんとお子さんたち
(10区)

Q あなたのことを教えてください。

A 昭和57年生まれ、4児の子どもたちの父親です。

町内の会社に勤めながら、涌谷町消防団に所属し、町民の方々と日々関わり合って生活しています。

Q 議会についてどう思いますか。

A 涌谷町民の代表として、より良い未来のために、危機感を持って、全力でさまざまな政策に取り組んでもらいたいと思っております。

Q 涌谷町をどういう町にしたいですか。

A 人々の往来が活発になるような魅力ある町になってほしいですね。

○議会から

日頃より町政に御協力いただき、大変ありがたく思います。懸念されている魅力ある環境をつくるためにも、情報を把握し、政策提言をしていきたいと思えます。

議会を傍聴

しませんか

次回の定例会議は

6月19日から

開催予定です

詳しい日程と一般質問の内容は、後日ホームページでお知らせします。

詳しくは、議会事務局にお問い合わせください。

☎43-2127

涌谷町議会の本会議などをパソコンやスマートフォンで見ることができます。

議会の内容を動画配信サイト「YouTube」で生配信しています。

各議員の一般質問の内容も動画配信しています。左下のQRコードからご覧ください。



編集ろまん

だより

新年度、新入園児・新入生・新社会人の皆さんおめでとございます。夢や希望を抱き、新たなスタートを迎えていることとお慶び申し上げます。ことしは町花の桜も例年以上に咲き誇り、すがすがしい春の日差しとともに涌谷町の未来が明るく黄金色に輝いていくものと後押ししてくれているようなそんな気持ちにさせてくれます。町議会と致しましても一丸となり、桜同様に華やぐ町づくりを目指してまいります。(二條裕太郎)

編集 広報広聴常任委員会

広報分科会

分科会長 佐々木 敏雄

副分科会長 一 條 裕太郎

委員 竹 中 弘 光

委員 稲 葉 定

委員 黒 澤 朗

委員 二 上 光 子